

事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分、一部令和7年度分を含む)

静岡県立三方原学園

目 次

事務事業の概要

1 概要

(1) 目的	1
(2) 沿革	1
(3) 入所定員	1
(4) 組織及び職員構成	2
(5) 支援理念	2
(6) 主要施設	3
(7) 学園配置図	4

2 実績

(1) 生活支援	5
(2) 学習支援	6
(3) 作業支援	7
(4) 職業支援	7
(5) 部活動	7
(6) 防災対策	7
(7) 関係機関との連絡、調整	8
(8) アフターケア	8
(9) 給食業務	8
(10) 保健業務	8
(11) 地域との交流活動	9
(12) 諸統計	
① 入退園状況	10
② 在園児童の状況	11
③ 退園児童の状況	15

3 評価・改善

(1) 運営体制の改善強化	17
(2) 児童の権利擁護の推進	17
(3) 性教育委員会の活動	18
(4) 心理療法担当職員の配置	18
(5) 家庭支援専門相談員の配置	19

(6) 精神科医との連携	19
(7) 研修の充実	19
(8) コグトレの導入	20
事業の根拠法令調	21
職員配置調	22
保管現金有高調	25
預金調	26
郵券等受払調	27
歳出予算執行状況調	28
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	33
委託料に関する調	35
負担金支出調	37
建築工事調	38
公有財産調	42
借地・借家等調	42
行政財産貸付・使用許可調	43
備品・図書調	44
主要備品調	48
生産物受払調	49

事務事業の概要

1 概 要

(1) 目 的

児童福祉法第44条に定める「不良行為をなし、又はなすおそれのある児童及び家庭環境その他環境上の理由により生活指導等を要する児童」を入園させ、必要な指導を行い、その自立を支援することを目的とする。

(2) 沿 革

- ・ 明治43年2月28日 静岡県立三保学院として、安倍郡三保村に設置された。
(感化法に基づく感化院。静岡県訓令第17号により認可)
- ・ 昭和8年3月26日 浜名郡積志村有玉(現在地)へ移転、静岡県立三方原学園と改称された。
- ・ 昭和9年10月10日 少年教護法が施行され、同法による教護院となった。
- ・ 昭和23年1月1日 児童福祉法の施行により、児童福祉施設(教護院)となった。
- ・ 平成10年4月1日 児童福祉法の改正により児童自立支援施設となった。
- ・ 平成12年4月1日 浜松市立有玉小学校及び積志中学校の萩原分校が併設された。
- ・ 平成19年4月1日 全寮が小舎夫婦制から小舎交替制となった。

(3) 入所定員

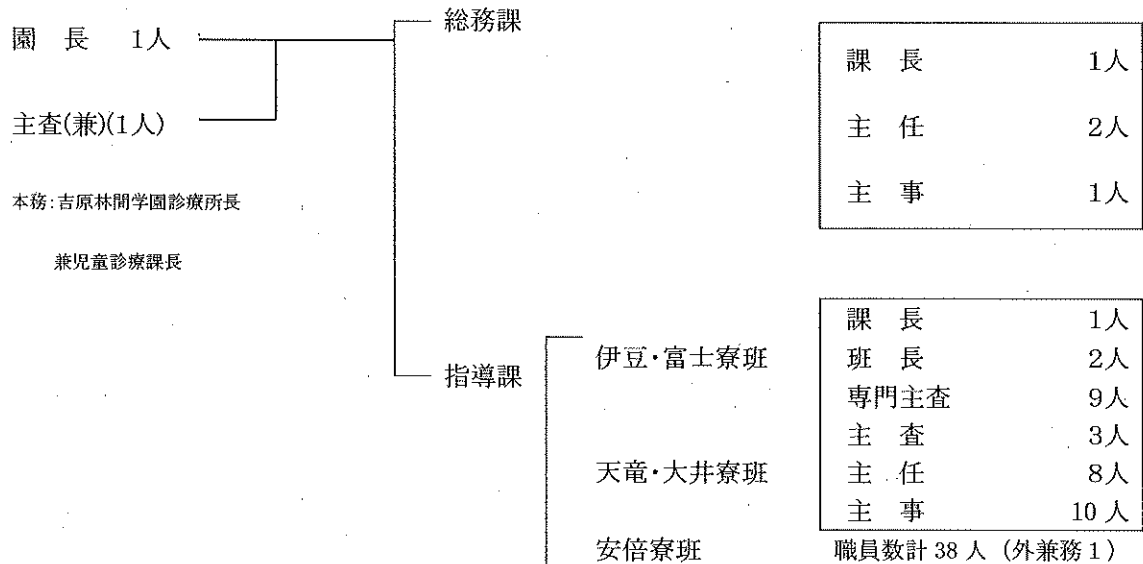
60人(男子36人、女子24人)

定員の推移

年 月 日	定 員	年 月 日	定 員
昭和9年11月4日	80人	昭和37年4月1日	151人
昭和23年4月1日	90人	昭和39年4月1日	144人
昭和24年4月1日	100人	昭和45年4月1日	120人
昭和26年4月1日	130人	昭和60年4月1日	90人
昭和29年4月1日	140人	平成19年4月1日	60人

(4) 組織及び職員構成

(組織図：令和7年4月1日現在)



(その他会計年度任用職員等)

会計年度任用職員	栄養士	1人
	看護師	1人
	FSW	1人
	児童指導員	8人
	技能労務	1人
	管理当直員	3人
嘱託医		2人

※FSW：ファミリーソーシャルワーカー

(5) 支援理念

- ・ 児童を人として尊び、その権利を保障する。
- ・ 児童の情緒の安定を図り、児童が基本的な人間関係を築き、自らを高めることができるように支援する。
- ・ 児童が自立心を持ち、社会の一員として生活できるように支援する。

ア 生活支援（くらしの教育）

入所児童の多くは家庭環境に恵まれず、性格、行動上の問題を持っている。このため、職員と生活をともにしながら、寮集団の持つ家庭的な雰囲気の中で、職員との人間関係をつくり、基本的な生活習慣やマナーを身につけさせるとともに、社会生活に不可欠な知識を学び、集団生活を通して社会生活への適応力を習得させている。

イ 学習支援（学ぶ教育）

児童福祉法の改正に伴い、平成12年度に設置された浜松市立有玉小学校積志中学校萩原分校において、学校教育法に基づく学校教育を実施している。児童の多くは学力の遅れが顕著なため、一斉指導の形態をとりながらも個別指導に重点を置いて基礎学力の向上と定着を図っている。

また、寮生活の中でも日常的に主要教科の補習を行い、学習に対する意欲と自信を高めている。

ウ 作業支援（働く教育）

作業活動を通して、協働して仕事を達成する喜びを体験し、勤労意欲の向上、心身の鍛錬を図っている。また健全な社会生活を営むために必要な協調性や社会性を養っている。

（6）主要施設

土 地

学園施設	96,970.38㎡
------	------------

建 物

建築面積	5,227.01㎡
------	-----------

延べ面積	5,825.00㎡
------	-----------

本館

男子寮 2 棟 3 寮（複式寮 1 棟：大井、天竜 単独寮 1 棟：安倍）

女子寮 1 棟 2 寮（複式寮 1 棟：富士、伊豆）

体育館 1 棟

給食棟 1 棟

その他旧寮舎等	計17棟
---------	------

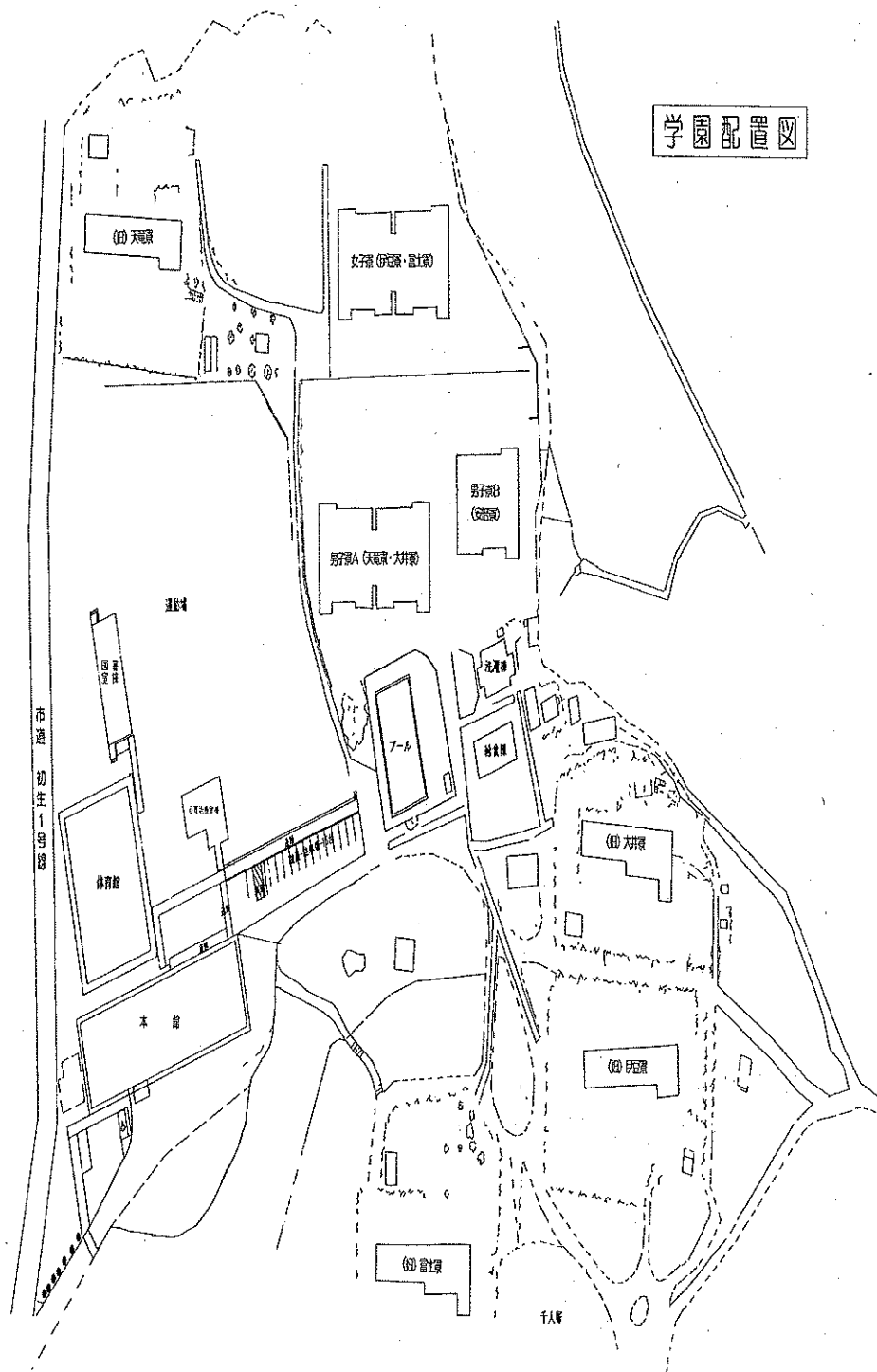
そ の 他

農 場	1 場所
-----	------

運動場	2 面
-----	-----

プール	1 (25m)
-----	---------

温 室	1 (35.64㎡)
-----	------------



2 実 績

(1) 生活支援

生活支援は児童支援の中心であり、家庭に代わる生活の場である寮舎において清掃・洗濯、食事、身の回りの整理整頓、学習、自由時間等の支援を日々行った。また、収穫祭、キャンプ、体育祭等の各種の行事を通して成長を促すよう支援した。

支援内容としては、まず、児童自身に自分の目標を意識させ、学園生活への意欲を持たせて、家庭的な雰囲気の中で基本的生活習慣の確立を図るとともに、公衆道徳、社会規範等集団生活に必要な知識を学ばせ、社会適応力の向上を図った。

ア 令和6年度年間行事

	主 要 行 事
3 月	・卒業式 ・春季帰省
4 月	・入学式 ・始業式 ・内科検診 身体測定 ・創作風展示会
5 月	・5月帰省 ・創立記念式典園遊会 ・プール開き
6 月	・中3修学旅行（京都・奈良1泊2日）
7 月	・東海地区少年野球大会（山梨県） ・水泳記録会 ・男子キャンプ ・思春期教室
8 月	・女子キャンプ ・水泳交流会（名古屋市） ・全国少年野球大会（群馬県） ・夏季帰省 ・水泳記録会
9 月	・水泳大会
10 月	・体育祭 ・遠足（名古屋市東山動物園）
11 月	・収穫祭
12 月	・サッカー大会 ・東海地区駅伝大会（名古屋市） ・クリスマス会 ・餅つき ・冬季帰省
R7年 1 月	・オセロ大会 ・将棋大会 ・育児体験教室 ・小学6年生修学旅行（東京・千葉1泊2日）
2 月	・中学2年スキー教室（静岡県） ・マラソン大会

毎月1回実施：非常災害訓練、理髪、誕生会、生花指導（女子）

毎月1～2回実施：朗読会、フォークダンス（女子）

隔月実施：珠算検定

イ 日課表

時 刻	平 日	時 刻	土曜・日曜・祝日
6:40	起床		
7:00	掃除		
7:30	朝食	7:40	起床
8:50	登校	8:00	朝食、掃除
	授業		整頓、学習、寮活動
12:15	昼食	12:00	昼食
13:20	授業	13:20	寮活動（スポーツ、作業、 部活動等）
15:00	下校		
	寮活動（スポーツ、作業、 部活動等）		
	掃除	17:30	掃除
17:30	夕食		夕食
18:30	入浴、余暇	18:30	入浴、余暇
21:00	学習、日記	21:00	学習、日記
22:00	就寝	22:00	就寝

*平日日課のうち、水曜日は午前のみ登校する。

(2) 学習支援

学校教育は、平成12年度から併設されている浜松市立有玉小学校積志中学校萩原分校において実施しているが、教室内で不適応を起こす児童がおり、不穏な場合は、寮職員が対応している。学園と分校の情報共有については、朝の打ち合わせと夕方の分校からの報告、月に1回の職員会議・学園分校連絡会で行っており、より緊密な連携のもと、児童が落ち着いた学校生活を送れるよう支援している。

また、寮生活の中でも日常的に主要教科の補習を行うなど、個々の児童の習熟度に応じて学力や学習に対する意欲と自信の向上に努めたほか、学習関係活動として朗読発表会、俳句づくり、珠算も行った。

ア 朗読会

毎月第2及び第4月曜日に、児童が自分の目標や反省等を作文にまとめて発表し合う朗読会を行った。

児童は作文を発表した後、職員から講評を受け、生活のレベルアップを目指している。

イ 珠算検定試験（全国珠算連盟）

寮学習の中で珠算の指導を行うとともに、ボランティアの講師の協力を得て、珠算検定試験を隔月実施した。

- ・令和6年2月～令和7年1月までの期間の延べ受験者数：117人
- ・3級以上の合格者数：2級 3人、3級 4人

ウ 創作活動

美術学習の一つとして、浜松まつりにちなみ、児童全員が創作風作成に取り組んだ。作品は、園内に展示し、児童・職員の投票により優秀作品を表彰している。その他、手芸やボランティアの協力を得て絵手紙などの創作活動を支援した。

(3) 作業支援

農場での農作業、花壇・温室での園芸、園内の環境整備作業等を通して、児童の性行改善を促した。忍耐力、協調性等を養うとともに、体力の増強、勤労習慣の習得を図り、作物の成長や収穫体験により生産の喜びを得るなど、情緒の安定につなげた。

- ・農作業：サツマイモ、ジャガイモ、ナス等の植付け、水やり等の世話や収穫
- ・園 芸：花壇への四季折々の草花の植付けや世話、温室内の観葉植物の世話等
- ・環境整備：草刈、庭木の剪定、その他園庭の維持・補修、整備等

(4) 職業支援

就職を希望する児童のためには、みちしるべ（就業支援事業所しあんくれーる内）に依頼して、職業体験実習を行うことができる。令和6年度は1人が職場見学を行った。

(5) 部活動

部活動を通して、文化、運動、自治の能力を育成し、自己の可能性を発見させ、児童一人ひとりが豊かな人間性を育んでいくことを目的に活動に取り組んだ。

<部活動実施状況>

野 球	活動期間：1～8月 東海地区少年野球大会 優勝 全国少年野球大会 出場
駅 伝	活動期間：9月下旬～12月初旬 東海地区駅伝大会 令和5年 男子：優勝・3位女子：優勝 令和6年 男子：準優勝 女子：準優勝
フォークダンス	ボランティア講師の指導により月2回活動
生 花	ボランティア講師の指導により月1回活動
園 芸	学園行事等での観葉植物の配布、花壇・花園の整備
文 芸	三方原学園新聞（毎月1回発行）、卒業文集（年1回発行）
手 芸	各女子寮にて随時活動

(6) 防災対策

地震、火災等非常災害発生時における児童の安全確保のため、月1回、消防設備等の自主点検を行ない、年12回の防災活動を実施した。授業中の発災も想定し分校と連携して実施した。また、非常時に備えて備蓄食料等の点検、確保を行った。

- ・地震想定避難訓練6回、火災想定避難訓練6回を実施した。11月には消防隊員を講師に招き、講話のほか水消火器による消火訓練を実施した。

(7) 関係機関との連絡、調整

児童の入園にあたっては、児童相談所と緊密に連絡を取り合い、ケース説明、見学を経てスムーズな受け入れができるよう調整を図った。退園後、高校進学する児童に向けては、萩原分校の協力を得ながら児童相談所と連携し、児童・保護者の希望に沿った進路の支援を行った。

また、児童相談所との相互理解を深め、協同して児童の支援を行うため、県内7つの児童相談所との連絡会を6月に開催し、また10月から12月にかけて学園職員が各児童相談所に出向いて、学園の状況を報告した。

(8) アフターケア

退園後、学校や家庭、施設での適応を促すため、関係機関と連携しながら訪問調査、電話・手紙による励ましを行うなど、退園児童の状況把握・支援に努めた。

なお、退園後の児童・保護者等からの学園への連絡（来訪・電話・郵便）の内容等を記録し、退園生の指導に役立てている。

- ・令和6年度の退園生関係の連絡は延べ 305 件あり、そのうち主なものは児童からの電話・郵便 72 件、職員からの電話・郵便 140 件、児童の来園 38 件、保護者からの電話 4 件、児童相談所との連絡 38 件、児童への訪問 32 件であった。
- ・退園生全員に寮職員（退園1か月後）、分校職員から（退園3か月後）寄せ書きのような手紙を送付した。

(9) 給食業務

成長期にある児童にとって、バランスのとれた食事を摂ることは必要であるばかりでなく、最大の楽しみでもある。

- ・家庭の食事に代わるものとして、心の安定の面でも重要であることから、嗜好調査等により栄養士がきめ細かく配慮した献立に基づく心のこもった給食を提供している。
- ・学園職員と委託業者による給食会議を毎月開催して、児童の様子、献立、食中毒予防及び衛生管理等の改善について意見交換を行っている。
- ・食物アレルギーのある児童には代替品を用意したり、アレルギーカードを用いたりして事故が起こらない工夫をし、委託業者と情報共有して安全な食事を提供している。
- ・食材の一部には、児童が農場で育てた収穫物を利用し、収穫の喜びを経験させている。

(10) 保健業務

被虐待、発達障害を伴う児童が年々増加していることから精神科への通院件数が増え、通常生活を過ごす上でメンタル面での管理も重要となっている。

- ・児童の健康管理のため、看護師が児童の健康をチェックし、必要に応じて通院させた。
- ・健康管理の一層の徹底を図るため、「感染症対応マニュアル」、「怪我、疾病等の緊急対応マニュアル」について職員に周知した。
- ・令和6年3月1日～令和7年1月31日
通院状況：9診療科、521件
園内処置：10,306人

(11) 地域との交流活動

地域社会の一員として、地域に根差した施設を目指し、施設機能の地域への開放、視察、実習生、研修生の受け入れや各種交流活動を行った。

ア 施設機能の開放

施設機能の開放として、近隣の一般住民に体育館を開放した。

・令和6年2月1日～令和7年1月31日

回数 275 回、利用人数 5,519 人

イ 古墳見学

敷地内には「千人塚古墳」、「ひょうたん塚古墳」があり、一般住民に対し見学に供している。新型コロナウイルスが落ち着き、例年並みになってきた。

・令和6年2月1日～令和7年1月31日

見学者数：一般（19 人）

ウ 収穫祭

ここ数年、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来賓数を最小限にし、食事も感染対策をして対応してきたが、今年度は、新型コロナウイルスが収束に向かっていたことから、児相職員を中心とした来賓を招待し、体育館での食事会や出し物の披露を行った。

・令和6年11月12開催

参加人数：来賓者（30 人）、児童職員（学園・分校）（51 人） 計 81 人

エ 創立記念式典・園遊会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年度から中止していたが、令和6年度はコロナ禍以前と同様に開催された。三方原学園創立114周年記念式典を行うとともに、作品展や各寮の模擬店による園遊会にて、来賓・関係機関・児童および職員間の交流を深め、また学園や児童への理解と協力を依頼する機会とした。

・令和6年5月23日開催

参加人数：来賓者（85 人）、児童職員（学園・分校）（73 人） 計 158 人

オ 視察見学

例年、民生委員・児童委員、更生保護女性会、福祉関係者、司法関係者、医療関係者、教員等学校関係者等に対し、県内で唯一の児童自立支援施設である当学園への理解を深め、連携を強化するため、視察見学を受け入れている。

・令和6年2月1日～令和7年1月31日

受入数：8 団体、92 人

カ 実習生・研修生の受入

今後の福祉を担う後継者を育てることを目的に、大学や専門学校等で社会福祉士、児童指導員、保育士、幼稚園教諭等を目指す学生や、児童相談所等福祉関係職員等を受け入れ、実習・宿泊をともなう研修の場として提供している。

・令和6年2月1日～令和7年1月31日

受入数：実習学生3人、専門里親更新研修2人、児童相談所等職員研修4人

(12) 諸統計

① 入退園状況

ア 創立以来の入退園

(令和7年1月31日現在 単位:人)

入 園	3,731	
退 園	3,705	
内 訳	改善	2,730
	強制引取	227
	家裁送致・事故	444
	措置変更	293
	病死	11
在 園	26	

イ 年度別入退園状況

(令和7年1月31日現在 単位:人)

区分 \ 年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
入 園	23	24	26	25	23	25	18	10
退 園	23	25	24	25	25	24	24	4

ウ 月別の入退園数

(令和5年度 単位:人)

月	初日在籍数	入園	退園	備考
4	26	2	1	1日付入退園1名
5	27	2	0	
6	29	4	0	
7	33	0	1	
8	32	1	1	
9	32	2	0	
10	34	2	2	
11	34	1	0	
12	35	2	1	措置停止1名
1	36	2	0	措置停止1名
2	38	0	0	措置停止1名
3	38	0	18	措置停止2名
計		18	24	

(令和6年度 単位:人)

月	初日在籍数	入園	退園	備考
4	20	0	0	措置停止1名
5	20	2	0	措置停止1名
6	22	1	1	措置停止2名
7	22	1	0	措置停止2名
8	23	2	1	措置停止2名
9	24	0	0	措置停止2名
10	24	2	1	措置停止2名
11	25	0	0	措置停止2名
12	25	1	1	措置停止2名
1	25	1	0	措置停止2名
計		10	4	

② 在園児童の状況

ア 児童相談所

(令和6年3月31日在園児童 単位:人)

児童相談所	男子	女子	計
賀茂	0	0	0
東部	1	2	3
富士	5	0	5
中央	2	0	2
静岡市	3	2	5
西部	0	0	0
浜松市	2	1	3
県外	0	2	2
計	13	7	20

(令和7年1月31日在園児童 単位:人)

児童相談所	男子	女子	計
賀茂	0	0	0
東部	3	2	5
富士	5	0	5
中央	3	0	3
静岡市	5	2	7
西部	0	0	0
浜松市	3	1	4
県外	0	2	2
計	19	7	26

イ 出身郡・市

(令和6年3月31日在園児童 単位:人)

郡・市	男子	女子	計
田方郡	0	1	1
沼津市	1	1	2
三島市	0	0	0
富士市	4	0	4
富士宮市	1	0	1
静岡市	3	2	5
焼津市	0	0	0
藤枝市	2	0	2
島田市	0	0	0
掛川市	0	0	0
袋井市	0	0	0
浜松市	2	1	3
県外	0	2	2
計	13	7	20

(令和7年1月31日在園児童 単位:人)

郡・市	男子	女子	計
田方郡	1	1	2
伊東市	0	1	1
沼津市	2	0	2
三島市	0	0	0
富士市	4	0	4
富士宮市	1	0	1
静岡市	5	2	7
焼津市	0	0	0
藤枝市	3	0	3
島田市	0	0	0
掛川市	0	0	0
袋井市	0	0	0
浜松市	3	1	4
県外	0	2	2
計	19	7	26

ウ 年齢

(ア) 入園時年齢

(令和6年3月31日在園児童 単位:人)

年齢	男子	女子	計
9	0	0	0
10	2	0	2
11	1	1	2
12	3	4	7
13	6	1	7
14	1	1	2
15	0	0	0
計	13	7	20

(令和7年1月31日在園児童 単位:人)

年齢	男子	女子	計
9	0	0	0
10	2	0	2
11	2	1	3
12	2	3	5
13	9	2	11
14	4	1	5
15	0	0	0
計	19	7	26

(イ) 現学年

(令和6年3月31日在園児童 単位:人)

	男子	女子	計
小4	0	0	0
小5	0	1	1
小6	2	2	4
中1	2	2	4
中2	9	2	11
中3	0	0	0
高1	0	0	0
高2	0	0	0
高3	0	0	0
中卒	0	0	0
計	13	7	20

(令和7年1月31日在園児童 単位:人)

	男子	女子	計
小4	0	0	0
小5	1	0	1
小6	1	1	2
中1	3	2	5
中2	5	2	7
中3	9	2	11
高1	0	0	0
高2	0	0	0
高3	0	0	0
中卒	0	0	0
計	19	7	26

エ 主訴

(令和6年3月31日在園児童 単位:人)

主 訴	男	女	計
窃盗	2	0	2
暴力	2	0	2
傷害	0	0	0
性非行	5	0	5
性犯罪	0	0	0
弄火・放火	0	1	1
不良行為	2	0	2
集団不適応	0	0	0
施設・里親不適応	0	1	1
養育困難	2	4	6
自立支援	0	1	1
その他	0	0	0
計	13	7	20

(令和7年1月31日在園児童 単位:人)

主 訴	男	女	計
窃盗	3	0	3
暴力	2	0	2
傷害	0	0	0
性非行	3	0	3
性犯罪	0	0	0
弄火・放火	0	1	1
不良行為	4	2	6
集団不適応	0	0	0
施設・里親不適応	0	1	1
養育困難	7	2	9
自立支援	0	1	1
その他	0	0	0
計	19	7	26

オ 知能指数

(令和6年3月31日在園児童 単位:人)

IQ	男子	女子	計
59以下	0	0	0
60～69	1	0	1
70～79	2	3	5
80～89	4	1	5
90～99	3	0	3
100～109	3	2	5
110～119	0	0	0
120以上	0	1	1
計	13	7	20

(令和7年1月31日在園児童 単位:人)

IQ	男子	女子	計
59以下	0	0	0
60～69	1	0	1
70～79	1	2	3
80～89	7	1	8
90～99	6	1	7
100～109	4	2	6
110～119	0	0	0
120以上	0	1	1
計	19	7	26

カ 在園期間

(令和 6 年 3 月 31 日在園児童)

(単位:人)

在園期間	男子	女子	計	%
6 か月未満	2	5	7	35
1 年未満	5	0	5	25
2 年未満	5	1	6	30
3 年未満	1	1	2	10
3 年以上	0	0	0	0
計	13	7	20	100
平均	13か月	7 か月		

(令和 7 年 1 月 31 日在園児童)

(単位:人)

在園期間	男子	女子	計	%
6 か月未満	3	1	4	15
1 年未満	5	0	5	19
2 年未満	7	5	12	46
3 年未満	3	1	4	15
3 年以上	1	0	1	4
計	19	7	26	100

キ 無断外出

年度	件数	発生日	単独・グループの別
5	4	6月6日	単独
		6月11日	単独
		12月2日	単独
		1月5日	単独
6	1	2月25日	単独

ク 養育者の状況

(令和6年3月31日在園児童 単位:人)

養育者	男子	女子	計	%
両親	0	2	2	10
実父	0	0	0	0
実母	8	2	10	50
養父母	0	0	0	0
養父	1	0	1	5
養母	0	0	0	0
実父養母	1	0	1	5
養父実母	2	2	4	20
継父	0	0	0	0
継母	0	0	0	0
実父継母	0	0	0	0
継父実母	0	1	1	5
その他	1	0	1	5
計	13	7	20	100

(令和7年1月31日在園児童 単位:人)

養育者	男子	女子	計	%
両親	0	2	2	8
実父	2	0	2	8
実母	11	2	13	50
養父母	0	0	0	0
養父	1	0	1	4
養母	0	0	0	0
実父養母	1	0	1	4
養父実母	3	2	5	19
継父	0	0	0	0
継母	0	0	0	0
実父継母	0	0	0	0
継父実母	0	1	1	4
その他	1	0	1	4
計	19	7	26	100

③ 退園児童の状況

ア 退園児童の進路状況

(令和5年度退園児童 単位:人)

進路	男子	女子	計
就職(含家事手伝い)	0	0	0
進学	11	2	13
復学	7	3	10
他の児童福祉施設	0	0	0
その他	0	1	1
家庭裁判所送致等	0	0	0
出願	0	0	0
計	18	6	24

(令和6年度の退園児童 単位:人)

*令和7年1月31日まで

進路	男子	女子	計
就職(含家事手伝い)	0	0	0
進学	0	0	0
復学	3	1	4
他の児童福祉施設	0	0	0
その他	0	0	0
家庭裁判所送致等	0	0	0
出願	0	0	0
計	3	1	4

イ 退園児童の在園期間

令和 5 年度退園児童 (単位:人)

在園期間	男子		女子		計	
	改善	未改善	改善	未改善	改善	未改善
6 か月未満	1	1	0	0	1	1
1 年未満	5	0	2	0	7	0
1 年 6 か月未満	7	0	2	1	9	1
2 年未満	2	0	1	0	3	0
3 年未満	0	0	0	0	0	0
4 年未満	1	0	0	0	1	0
計	16	1	5	1	21	2

令和 6 年度退園児童 (令和 7 年 1 月 31 日まで) (単位:人)

在園期間	男子		女子		計	
	改善	未改善	改善	未改善	改善	未改善
6 か月未満	0	1	0	0	0	1
1 年未満	1	0	0	0	1	0
1 年 6 か月未満	0	0	0	0	0	0
2 年未満	0	0	1	0	1	0
3 年未満	1	0	0	0	1	0
4 年未満	0	0	0	0	0	0
5 年未満	0	0	0	0	0	0
計	2	1	1	0	3	1

3 評価・改善

令和6年度末、中学3年生10人（男子8人、女子2人）うち男子6人、女子2人が高校に合格し、男子2名が就労支援事業所を利用し就労へ繋げていく予定。

性行改善が達成され学年途中で家庭復帰し地元校へ復学した児童をはじめ、中学卒業後は、進学・就職等それぞれの社会的自立への道を歩んでおり、当学園における自立支援は一定の成果を上げている。

一方、入所したものの、自身の課題に向き合えず一時保護となるケースや、未改善のまま退園となるケースもあり、特性の多様化により指導の困難性も高まっている。

被虐待体験、発達障害を持つ児童の割合は増加しており、集団支援を行う中で個々にとっての適切な支援を行えるよう、医療機関や児相と連携を図っている。

子どもを取り巻く問題の深刻・複雑化に的確に対応できる児童自立支援施設を目指し、自己研鑽はもとより、正規職員だけでなく、会計年度職員も参加する園内研修の充実を図っていく。

(1) 運営体制の改善強化

施設全体の運営方針、支援理念の浸透、周知徹底を図り、児童の権利擁護の推進等、組織的体制の充実を図った。

有識者5人からなる「第三者委員会」を9月と2月に開催し、学園の支援理念に沿って児童一人ひとりが適切な評価に基づく支援が受けられているかを検証した。

支援理念を児童支援の礎と認識し、常に外部に対して説明責任を果たす運営と外部からの声に真摯に向き合える職員体制の構築を図った。

子どもの権利擁護については令和5年度末に「権利擁護推進委員会」を立ち上げ、令和6年度は処遇上の制限についてのリスト化、それについての子どもの意見の聞き取り及びフィードバックを行い、さらに今後の検討すべき事項まで挙げることができた。令和7年度は児童自立支援施設の支援の特性を保ちながら、児童の意向も取り入れながら、より児童が前向きに生活できる環境に改善できるよう検討を重ねた。

入所児童の多様化に応じた適切な個別支援、入所児童個々の特性と問題行動の発生要因に応じた個別支援のあり方について支援方針について検討を重ね、通過施設である児童自立支援施設として、退園後の児童の先々につながる成長の促しに繋げている。

また、学園の使命を再認識し、援助技術の向上を図るため、外部講師による研修会、各寮の支援を確認検討するスタッフ会議、児相職員等との関係者会議等により情報の共有化、援助方法の構築及び専門性の研鑽に努めた。

今後とも寮スタッフによるチームケア体制の推進によって、きめ細やかな支援と自立への後押しを図るとともに、班長制のもとでの寮舎間の協議、協力等の連携により、より柔軟な視点での支援方法、援助技術の共有化に取り組むことで、児童自立支援体制の充実強化を図っていく。

(2) 児童の権利擁護の推進

平成21年度より、園内に「被措置児童等虐待防止推進委員会」を設け、毎月課長及び班長の4人の委員が、全児童を対象に「安心安全生活聞き取り調査」を実施し、園

内の虐待防止に努めている。園内の6ヶ所に「投書箱」(学園宛)、2か所に「相談受付箱」(児童相談所宛)を設置し、児童が自由に意見を言えるように配慮している。児童に対しても入園時にはこのことについて説明し、周知している。令和6年度の苦情・要望・相談受付件数は、10件あった。本人と面談し可能な範囲で要望を実現するなど適切に対応したが、第三者委員会では、苦情解決結果をホームページ上に公表するだけでなく、在園児童に対しても周知すべきとの助言をいただいた。在園児童への周知についても、年2回全児童の参加する集会で周知することとした。

聞き取り調査、投書箱、生活意識アンケートなどによる児童から出てきた声や、第三者委員会での助言を、検証し児童一人ひとりの最善の利益のために権利擁護の一層の推進を図っている。

また、寮職員は児童が思いや悩みを相談しやすいよう配慮し、傾聴し、信頼関係をつくることに努めている。

(3) 性教育委員会の活動

学園に措置される児童が性的問題を抱えているケースが多くあり、性に対する適切な支援が急務であること、また施設内で性逸脱行為が発生した場合の対応方法を確立しておく必要があり、平成28年度に性教育委員会を立ち上げた。

「性」教育、だけでなく基本的な生活習慣を身に着けるための「生」教育も必要となる児童も多い。月1回の性教育委員会では、各寮で実施されている「生(性)活チェック」の内容を共有し、その都度必要な対応を検討している。

職員に対しての性教育に関連する研修を実施したり、児童に対しても「思春期教室」「育児体験教室」「SNS教室」など、退園後に必要となる知識を獲得するための支援も実施している。

また虐待等の過酷な生育環境でよき親、大人のモデルも知らずに生きてきた児童には「性」だけでなく「生教育」も必要であるとの認識で思春期教室や育児体験など様々な支援を展開している。

(4) 心理療法担当職員の配置

心理療法担当職員としては、専任の心理士(常勤)が1名配置されている。専任の心理士は個々の児童の課題に応じた心理面接、家族の再構築を目指し入所児童やその家族に対し、児相と協同での家族面接、心理的ケア及び医療カンファレンスや相談など医療的ケアの調整を行っている。また、専任ではないが寮に配置されている心理士を含めると、心理的ケアの実績は遊戯療法やカウンセリング等の心理療法及びグループ活動による心理教育等の直接ケアを376回、心理検査を244件、各種会議への参加・相談・助言・指導等の間接ケアを1,004件行なった。

・グループ学習会による集団心理教育支援

専任の心理士と寮に配置されている心理士が主に企画・運営を行っているグループ活動がある。これは社会性の課題を抱えた子どもに対して、自己コントロールと対人スキルの向上を目的にした学習プログラムなどで、令和6年度は3テーマを計10回、男女児童21人(延べ49人)に実施した。

(5) 家庭支援専門相談員の配置

家庭支援専門相談員は、入所児童の家庭復帰や親子関係の調整等専門的な関わりから支援を行っている。令和4年度から、退所児童の継続的な相談援助を強化し、アフターケア計画書の作成やそれに基づいた児童、家庭、施設等への電話208回、学校や寮訪問7回、家庭訪問1回、施設訪問26回、児童の来園対応10回、施設訪問できない児童への手紙を定期的に送付したり、寮職員や分校教員の手紙を送付したりした。また、リービングケアとして、プレイルームを利用した親子交流の補助1回、退所後の施設見学を行った。

(6) 精神科医との連携

入所児童は被虐待体験による愛着障害、トラウマの影響、発達障害等をベースにした二次的障害として自傷・他害行為や破壊行為を行うなど問題行動が深刻化し、対人関係の維持や感情調節の問題が重篤化しているものが多い。このため、入所後も児童精神科医の診察や投薬治療といった直接的な医療的ケアだけでなく、カンファレンス、スーパーバイズ等の間接的な医療的ケアが欠かせなくなっている。

入所児童の約8割は地域の精神科医療機関への受診、あるいは地域の診療所医師による往診によって、診察及び投薬治療などの医療的ケアを受けている。そのため、浜松医科大学児童青年期精神医学講座の医師との連携により、学園の心理士が検査を実施し、医師を助言者に、寮職員や児童相談所、併設されている分校教員など他職種職員が参加し、入所児童の見立てと支援方針を共有するアセスメント会議を全児童に対して行っている。また、児童の診察だけでなく、オンラインを利用するなど保護者への相談対応や障害告知、児童相談所への助言、職員への支援方法への助言なども随時行っている。

トラウマを抱える児童が入所しているため、医師が講師となり、トラウマインフォームド・ケアの研修も実施し、子どもの抱えるトラウマについて理解、把握する機会となった。医師との連携により、職員の援助技術の向上が図られることにより、児童への支援がより適切に行うことができた。

(7) 研修の充実

入所児童の抱える諸問題に適切に対応するためのスキルや、効果的な支援方法の幅を広げるため、「静岡県健康福祉部選考職の専門性向上のためのキャリアプラン」に沿った研修、業務研修、職場内研修で、業務遂行と能力開発を推進し、職員の専門性の向上を図った。

4年度は、医療少年院との交流研修を実施し、座学や寮舎交流を行った。また、権利擁護等を主なテーマに、座学やグループワークを通して研修を行った。

なお、5年度に引き続き、これまで研修の機会が限られていた会計年度任用職員に対しても、専門性の向上のため、年間を通して計画的に研修を実施した。

今後も職場の研修体制を強化・充実するとともに、入所児童の特性や苦慮している支援場面等に対応できるよう職場内研修を積極的に行い、職員個々が計画的に自己研

修を行う姿勢を一層高め、職員のスキルアップを図っていく。

(8) コグトレの導入

問題を抱えて困っている児童の多くは、まず物事をきちんと捉えておらず、学園での支援が効果的に浸透していないのではないかという問題から、「見る・聞く力、想像する力、計画を立てる力、身体感覚を高めうまく使う力」といった認知機能の向上を図るコグトレを令和元年度から導入した。効果の実証に向けてアセスメントを実施している。退園前のアセスメントでは、児童の認知機能の向上が認められる児童が多く、一定の成果が確認できており、児童支援の柱の一つとなってきている。

事業の根拠法令調

事業名	根拠法令
三方原学園運営事業	児童福祉法(第44条) 児童福祉法施行令 児童福祉法施行規則 児童福祉施設最低基準 (昭和23年厚生省令63号) 最終改正平成22年6月1日
養護施設等退所児童 自立定着指導事業	養護施設等退所児童自立定着指導事業実施要綱 (平成9年4月9日厚生省児童家庭局長通知)
有玉小・積志中学 萩原分校	学校教育法(第29, 40条) 学校教育法施行令(第25条4号)

職 員 配 置 調

(令和7年4月1日現在)

区 分		総 務 課	指 導 課	計
所在地		—	—	—
担当区域		—	—	—
配 置 職 員	職員(事)	4人	33人	37人
	職員(技)	0人(外兼務1人)	0人	0人(外兼務1人)
	暫定再任用職員(事)	1人	0人	1人
	暫定再任用職員(技)	0人	0人	0人
	定年前再任用短時間勤務職員(事)	0人	0人	0人
	定年前再任用短時間勤務職員(技)	0人	0人	0人
	計	5人(外兼務等1人)	33人	38人(外兼務等1人)
	会計年度任用職員	2人	13人	15人
	臨時的任用職員	0人	0人	0人
	計	2人	13人	15人
合計		7人(外兼務等1人)	46人	53人(外兼務等1人)

歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A 円	収 入 予 算 額	
		納 期 内 B 円	納 期 後 C 円
款 08使用料及び手数料	25,920	9,180	16,740
項 01使用料	25,920	9,180	16,740
目 05健康福祉使用料	25,920	9,180	16,740
05庁舎等使用料	25,920	9,180	16,740
款 14諸収入	3,789,365	3,788,801	564
項 07雑入	3,789,365	3,788,801	564
目 02雑入	3,789,365	3,788,801	564
87保険料負担金	3,753,974	3,753,974	0
非常勤職員	3,753,974	3,753,974	0
90雑収	35,391	34,827	564
計	3,815,285	3,797,981	17,304

執 行 状 況 調

(令和 6年度)
(令和 7年 1月31日現在)

不 納 欠 損 額 D	収 入 未 済 額			収 入 歩 合 $\frac{B+C}{A-D-F}$	納 期 内 収 入 率 $\frac{B}{A-D-F}$
	納 期 限 経 過 E	納 期 限 未 到 来 F	計		
円	円	円	円	%	%
0	0	0	0	100.0	35.4
0	0	0	0	100.0	35.4
0	0	0	0	100.0	35.4
0	0	0	0	100.0	35.4
0	0	0	0	100.0	99.9
0	0	0	0	100.0	99.9
0	0	0	0	100.0	99.9
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	98.4
0	0	0	0	100.0	99.5

ZIB0090
ZIRB0090

保管現金有高調

(令和6年度)

(令和7年1月31日現在)

現金保管者	区 分	金 額 (円)
三方原学園 園長 加藤 千明	令和6年度 継続的資金前渡	17,177

預 金 調

(令和7年1月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 (円)	摘要
静岡銀行葵町支店	無利息型 普通預金	0031135	三方原学園 資金前渡者 加藤 千明	40,000	児童外出時食事料等
静岡銀行葵町支店	無利息型 普通預金	0316888	(自振口)三方原学園 資金前渡者 加藤 千明	0	自動振替による公共料金等 の支払
残 高 合 計				40,000	

郵便等受払調

(令和7年1月31日現在)
(単位:枚、円)

区 分 種 類	5年度					6年度					差 引 現 在 高		要 摘			
	繰 越 枚数	繰 越 金 額	受 枚数	入 払 金 額	入 払 枚数	出 金 額	繰 越 枚数	繰 越 金 額	受 枚数	入 払 金 額	入 払 枚数	出 金 額		繰 越 枚数		
郵 券	5円券	1	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	文書発送	
	10円券	87	870	150	1,500	175	1,750	62	620	200	2,000	149	1,490	113	1,130	文書発送
	16円券	0	0	0	0	0	0	0	0	131	1,310	131	1,310	0	0	文書発送
	22円券	0	0	0	0	0	0	0	0	13	130	0	63	13	130	文書発送
	63円券	1	63	1	63	1	63	1	63	0	0	1	63	0	0	文書発送
	84円券	88	7,392	1,001	84,084	915	76,880	174	14,616	300	25,200	474	39,816	0	0	文書発送
	85円券	0	0	0	0	0	0	0	0	1	85	0	0	1	85	文書発送
	94円券	73	6,862	80	7,520	76	7,144	77	7,238	50	4,700	127	11,938	0	0	文書発送
	100円券	51	5,100	150	15,000	158	15,800	43	4,300	150	15,000	122	12,200	71	7,100	文書発送
	110円券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	63,140	92	12,880	359	50,260	文書発送
計	120円券	71	8,520	60	7,200	97	11,640	34	4,080	50	6,000	79	9,480	5	600	文書発送
	140円券	51	7,140	150	21,000	181	25,340	20	2,800	200	28,000	114	15,960	106	14,840	文書発送
	180円券	0	0	0	0	0	0	0	0	150	21,000	11	1,540	139	19,460	文書発送
	63円ハガキ	15	945	0	0	1	63	14	882	0	0	1	63	13	819	文書発送
	レターパック370	0	0	13	4,810	10	3,700	3	1,110	13	4,810	9	3,330	7	2,590	文書発送
	レターパック520	6	3,120	1	520	4	2,080	3	1,560	2	1,040	1	520	4	2,080	文書発送
	計		40,017		141,697		144,440		37,269		172,415		110,590		99,094	
	県収入証紙	0	0	0	2	100	2	100	0	0	0	0	0	0	0	高校受検料
	100円	0	0	0	2	200	2	200	0	0	0	0	0	0	0	高校受検料
	200円	0	0	0	9	1,800	9	1,800	0	0	0	0	0	0	0	高校受検料
計	500円	0	0	0	0	0	0	0	0	1	500	1	500	0	0	高校受検料
	700円	0	0	0	2	1,400	2	1,400	0	0	0	0	0	0	0	高校受検料
	1,000円	0	0	0	16	16,000	16	16,000	0	0	0	0	0	0	0	高校受検料
	2,000円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	高校受検料
	4,000円	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4,000	1	4,000	0	0	高校受検料
	計				19,500		19,500	0	0	0	4,500		4,500	0	0	
タクシーチケット	23		0		1		22		0		5		17		児童搬送	
計	23		0		1		22		0		5		17			

歳出予算執行状況調

(令和 5年度)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
款 04 経営管理費	円 293,591	円 293,591	円 0	
項 01 経営管理費	293,591	293,591	0	
目 01 一般総務費	204,491	204,491	0	
04 共済費	204,491	204,491	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	204,491	204,491	0	
目 05 資産経営費	89,100	89,100	0	
10 需用費	89,100	89,100	0	
01 その他の需用費	89,100	89,100	0	
款 07 健康福祉費	108,311,274	108,311,274	0	
項 01 健康福祉費	96,920	96,920	0	
目 02 健康福祉企画費	96,920	96,920	0	
08 旅費	96,920	96,920	0	
02 普通旅費	96,920	96,920	0	
項 03 こども未来費	108,214,354	108,214,354	0	
目 01 こども未来費	108,214,354	108,214,354	0	
01 報酬	31,950,346	31,950,346	0	
03 非常勤職員報酬	31,950,346	31,950,346	0	
03 職員手当等	5,750,223	5,750,223	0	
01 その他の職員手当等	5,750,223	5,750,223	0	
04 共済費	9,213,222	9,213,222	0	
01 地方公務員共済組合に対する負担金	1,917,504	1,917,504	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	7,295,718	7,295,718	0	
07 報償費	141,500	141,500	0	
01 その他の報償費	141,500	141,500	0	
02 買上金	0	0	0	
08 旅費	1,805,960	1,805,960	0	
01 その他の旅費	598,170	598,170	0	
02 普通旅費	1,207,790	1,207,790	0	

健康福祉部 三方原学園

ZIB0030
ZIRB0030

一般会計

(令和 6年度)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
10 需用費	円 18,546,026	円 18,546,026	円 0	
01 その他の需用費	18,546,026	18,546,026	0	
02 食糧費	0	0	0	
11 役務費	1,862,067	1,862,067	0	
12 委託料	15,192,485	15,192,485	0	
13 使用料及び賃借料	747,323	747,323	0	
14 工事諸費	2,640,000	2,640,000	0	
17 備品購入費	496,100	496,100	0	
18 負担金、補助及び交付金	772,700	772,700	0	
19 扶助費	19,052,702	19,052,702	0	
21 補償、補填及び賠償金	0	0	0	
26 公課費	43,700	43,700	0	
計	108,604,865	108,604,865	0	

健康福祉部 三方原学園

ZIB0030
ZIR00030

2

歳出予算執行状況調

(令和 6年度)
(令和 7年 1月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 04 経営管理費	4,805,238	1,785,014	3,020,224	
項 01 経営管理費	4,805,238	1,785,014	3,020,224	
目 01 一般総務費	2,033,398	1,389,974	643,424	
01 報酬	833,000	758,107	74,893	
03 非常勤職員報酬	833,000	758,107	74,893	
04 共済費	1,190,398	628,821	561,577	
01 地方公務員共済組合に 対する負担金	47,000	40,431	6,569	
02 報酬、給料及び賃金に 係る社会保険料	1,143,398	588,390	555,008	
08 旅費	10,000	3,046	6,954	
01 その他の旅費	10,000	3,046	6,954	
目 03 行政経営費	395,040	395,040	0	
08 旅費	395,040	395,040	0	
02 普通旅費	395,040	395,040	0	
目 05 資産経営費	2,376,800	0	2,376,800	
10 需用費	300,000	0	300,000	
01 その他の需用費	300,000	0	300,000	
14 工事請負費	2,076,800	0	2,076,800	
款 07 健康福祉費	132,280,530	96,904,717	35,375,813	
項 01 健康福祉費	5,725,800	3,800,674	1,925,126	
目 01 健康福祉総務費	5,526,000	3,701,024	1,824,976	
01 報酬	3,116,000	2,242,308	873,692	
03 非常勤職員報酬	3,116,000	2,242,308	873,692	
03 職員手当等	1,519,000	1,458,716	60,284	
01 その他の職員手当等	1,519,000	1,458,716	60,284	
04 共済費	891,000	0	891,000	
01 地方公務員共済組合に 対する負担金	200,000	0	200,000	
02 報酬、給料及び賃金に 係る社会保険料	691,000	0	691,000	
目 02 健康福祉企画費	199,800	99,650	100,150	

健康福祉部 三方原学園

Z1B0030
Z1RB0030

一般会計

(令和 6年度)

(令和 7年 1月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
08旅費	100,800	99,650	1,150	
02普通旅費	100,800	99,650	1,150	
10需用費	99,000	0	99,000	
01その他の需用費	99,000	0	99,000	
項 03こども未来費	126,554,730	93,104,043	33,450,687	
目 01こども未来費	126,554,730	93,104,043	33,450,687	
01報酬	35,065,000	27,406,872	7,658,128	
03非常勤職員報酬	35,065,000	27,406,872	7,658,128	
03職員手当等	12,392,000	11,941,798	450,202	
01その他の職員手当等	12,392,000	11,941,798	450,202	
04共済費	11,623,000	9,830,541	1,792,459	
01地方公務員共済組合に 対する負担金	2,405,000	2,322,188	82,812	
02報酬、給料及び賃金に 係る社会保険料	9,218,000	7,508,353	1,709,647	
07報償費	812,000	107,300	704,700	
01その他の報償費	712,000	107,300	604,700	
02買上金	100,000	0	100,000	
08旅費	2,526,730	1,684,516	842,214	
01その他の旅費	1,069,000	441,356	627,644	
02普通旅費	1,457,730	1,243,160	214,570	
10需用費	19,330,000	15,022,057	4,307,943	
01その他の需用費	19,294,000	15,021,597	4,272,403	
02食糧費	36,000	460	35,540	
11役務費	2,870,000	1,843,437	1,026,563	
12委託料	16,690,000	11,141,045	5,548,955	
13使用料及び賃借料	1,180,000	985,183	194,817	
17備品購入費	692,000	268,840	423,160	
18負担金、補助及び交付 金	881,000	782,180	98,820	
19扶助費	22,351,000	12,090,274	10,260,726	

健康福祉部 三方原学園

ZIB0030
ZIRB0030

一般会計

(令和 6年度)

(令和 7年 1月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
21 補償、補填及び賠償金	90,000	0	90,000	
26 公課費	52,000	0	52,000	
計	137,085,768	98,689,731	38,396,037	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節 名	会 計	款	項	目	執 行 済 額 (円)		
					4 年 度	5 年 度	左のうち、前年度からの繰越額分
(12) 委 託 料	一般会計	健康 福祉費	こども 未来費	こども 未来費		15,192,485	
計					13,703,070	15,192,485	
(14) 工 事 請 負 費						2,640,000	
計					0	2,640,000	
(16) 公有財産 購 入 費						0	
計					0	0	
(17) 備 品 購 入 費	一般会計	健康 福祉費	こども 未来費	こども 未来費		496,100	
計					607,970	496,100	
(18) 負担金、 補助及 び交付金	一般会計	健康 福祉費	こども 未来費	こども 未来費		772,700	
計					601,300	772,700	
(21) 補償、補填 及び賠償 金						0	
計					0	0	

- (注) 1 本表は、本庁所管課及び出先機関等において調製する。
2 表中の6つの節について記載する。
3 該当予算がない節については『行』を削除せず、執行済額に「0」と記載する。

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和6年度)
(令和7年1月31日現在)

節 名	会 計	款	項	目	執 行 済 額 (円)	
					うち、5年度からの繰越額分	
(12) 委 託 料	一般会計	健康 福祉費	こども 未来費	こども 未来費	11,141,045	0
計					11,141,045	0
(14) 工 事 請 負 費					0	0
計					0	0
(16) 公有財産 購 入 費					0	0
計					0	0
(17) 備 品 購 入 費	一般会計	健康 福祉費	こども 未来費	こども 未来費	268,840	0
計					268,840	0
(18) 負担金、 補助及 び交付金	一般会計	健康 福祉費	こども 未来費	こども 未来費	782,180	0
計					782,180	0
(21) 補償、補填 及び賠償 金					0	0
計					0	0

- (注) 1 本表は出先機関等において調製する。
2 表中の6つの節について記載する。
3 該当予算がない節については『行』を削除せず、執行済額に「0」と記載する。

委託料に関する調

(令和6年度)
(令和7年1月31日現在)

整理 番号	委 託 業務名	受託者	当 初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約期間	支出 年月日	金 額	委託 業務の 内容	摘要
				当初額	変更 増減額	計						
1	(事務関係) 消防施設 等点検業 務委託	浜松市中 央区三方 原町1178- 2 中部防災 工業㈱	円 654,060	円 654,060	円	円 654,060	随契	R6.5.13 ～ R7.3.31	R6.8.30 計	円 301,180 301,180	自動火 災報知 設備点 検	随契一 号(少 額)
2	自家用電 気工作物 保安管理 業務委託	浜松市中 央区東三 方町503-1 (一財)中 部電気保 安協会浜 松北営業 所	348,480	348,480		348,480	随契	R6.4.1 ～ R7.3.31	R6.4.23 R6.10.30 計	174,240 174,240 348,480	自家用 電気工 作物保 安管理	随契一 号(少 額)
3	防鼠防虫 業務委託	浜松市中 央区下池 川町27-7 (㈱帝装化 成浜松営 業所)	135,300	135,300		135,300	随契	R6.4.1 ～ R7.3.31	 計		防鼠防 虫業務	随契一 号(少 額)
4	浄化槽維 持管理業 務委託	浜松市中 央区鍛冶 町100-1 (㈱サン 浜 松営業所)	264,000	264,000		264,000	随契	R6.4.1 ～ R7.3.31	R6.10.30 計	141,900 141,900	浄化槽 維持管 理	随契一 号(少 額)
5	給食業務 委託	広島県広 島市西区 東観音町2番 15号 (㈱シーア ンドシー)	36,036,000	令和6年度 31,175,999 令和7年度 7,793,999 令和8年度 10,392,000 令和9年度 10,392,000 令和10年度 2,598,000		10,392,000	一般	R5.7.1 ～ R8.6.30	R6.5.24 R6.6.24 R6.7.24 R6.8.23 R6.9.24 R6.10.24 R6.11.25 R6.12.24 R7.1.24 計	866,000 866,000 866,000 866,000 866,000 866,000 866,000 866,000 866,000 7,794,000	給食業 務	R5長 期継 続契 約
6	構内電話 交換設備 等保守業 務委託	浜松市中 央区大原 町11 日興電気 通信㈱	405,900	405,900		405,900	随契	R6.4.1 ～ R7.3.31	R6.4.30 R6.5.30 R6.6.28 R6.7.30 R6.8.30 R6.9.30 R6.10.30 R6.11.29 R6.12.26 R7.1.31 計	33,825 33,825 33,825 33,825 33,825 33,825 33,825 33,825 33,825 33,825 338,250	構内電 話交換 設備等 保守業 務	随契一 号(少 額)
7	建築基準 法第12条 に基づく 定期点検 業務委託	浜松市中 央区元魚 町91-2 鷹野設計 (株)	440,000	415,800		415,800	随契	R6.10.29 ～ R7.2.28	 計		園内建 築物の 法定点 検	随契一 号(少 額)
	頁 計		38,283,740	12,615,540		12,615,540				8,923,810		

整理 番号	委 託 業務名	受託者	当 初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約期間	支出 年月日	金 額	委託 業務の 内容	摘要
				当初額	変更 増減額	計						
8	庁舎清掃 業務委託	浜松市中 央区鍛冶 町100-1 (株)サン 浜 松営業所	902,000	902,000		902,000	随契	R6.4.2 ~ R7.3.31	R6.5.30 R6.6.28 R6.7.30 R6.8.30 R6.9.30 R6.10.30 R6.11.29 R6.12.26 R7.1.31 計	27,500 27,500 27,500 27,500 357,500 27,500 27,500 27,500 27,500 577,500	庁舎清 掃業務	随契 一号 (少 額)
9	一般廃棄 物処理業 務委託	湖西市新 居町中之 郷1771 環境保全 (株)	171,600	171,600		171,600	随契	R6.4.1 ~ R7.3.31	R6.5.30 R6.6.28 R6.7.30 R6.8.30 R6.9.30 R6.10.30 R6.11.29 R6.12.26 R7.1.31 計	14,300 14,300 14,300 14,300 14,300 14,300 14,300 14,300 14,300 128,700	一般廃 棄物処 理	随契 一号 (少 額)
10	修学旅行 手配業務 委託	浜松市中 央区上島7 丁目4-1 太陽観光(株)	787,780	787,780		787,780	随契	R6.5.22 ~ R6.6.30	R6.6.28 計	787,780 787,780	中3生 修学旅 行手配	随契 一号 (少 額)
11	修学旅行 手配業務 委託	浜松市中 央区上島7 丁目4-1 太陽観光(株)	92,760	92,760		92,760	随契	R6.12.26 ~ R7.1.17	 計	 	小6生 修学旅 行手配	随契 一号 (少 額)
12	産業廃棄 物処分の 委託	浜松市浜 名区引佐 町金指748 東名興産 (株)	16,929	16,929		16,929	随契	R6.4.8 ~ R7.3.31	R6.8.30 R6.12.26 計	5,643 5,643 11,286	産業廃 棄物の 処分	随契 一号 (少 額)
13	産業廃棄 物収集・ 運搬の委 託	湖西市新 居町中之 郷1771 (株)ホウダイ	25,060	25,060		25,060	随契	R6.4.8 ~ R7.3.31	R6.8.30 R6.12.26 計	8,353 8,353 16,706	産業廃 棄物の 収集・ 運搬	随契 一号 (少 額)
14	産業廃棄 物収集・ 運搬及び 処分業務 委託	湖西市新 居町中之 郷1771 (株)ホウダイ	184,895	184,895		184,895	随契	R6.4.8 ~ R7.3.31	R6.8.30 R6.1.31 計	61,631 61,632 123,263	産業廃 棄物の 収集・ 運搬	随契 一号 (少 額)
15	寮空調設 備点検業 務委託	浜松市中 央区三方 原町1188- 6 いけや空調・ 配管(株)	572,000	572,000		572,000	随契	R6.10.15 ~ R7.2.28	R6.12.26 計	572,000 572,000	寮ホー ルエア コンの 整備・ 点検	随契 一号 (少 額)
	事務関係 計		41,036,764	15,368,564	0	15,368,564				11,141,045		
	合 計		41,036,764	15,368,564	0	15,368,564				11,141,045		

負担金支出調

(令和6年度)
(令和7年1月31日現在)

整理 番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額 円	支出年月日
1	静岡県給食協会会費	静岡県給食協会浜松市支部	静岡県給食協会規約	集団給食に関する施設、技術、運営等に関する研究	12,000	R6.5.2
2	静岡県西部地区施設連絡会会費	静岡県西部地区施設連絡会	静岡県西部地区施設連絡会会則	施設入所(通園)児童の指導、訓練等に関する研究	10,000	R6.5.20
3	浜松市社会福祉協議会会費	社会福祉法人 浜松市社会福祉協議会	社会福祉法人浜松市社会福祉協議会会員規程	地域福祉活動の推進、ホームヘルプサービス等	1,000	R6.6.27
4	子どもアドボカシー勉強会	子どもアドボカシーセンターしずおか	同 受講案内	同センター勉強会の参加	6,220	R6.6.21
5	発達障害・専門講座Ⅰ受講費用	(公財)明治安田こころの健康財団	同 受講案内	研修受講	8,500	R6.6.25
6	全国児童自立支援施設協議会負担金	全国児童自立支援施設協議会	全国児童自立支援施設協議会規約	児童自立支援事業の調査研究等	86,800	R6.8.10
7	浜松東地区安全運転管理協会費	浜松東地区安全運転管理協会	浜松市東地区安全運転管理協会会則	安全運転管理協会の講習会等	25,000	R6.7.22
8	全日本少年野球連盟費	全日本少年野球連盟	全日本少年野球連盟規約	児童自立支援施設入所児童の野球大会	5,000	R6.8.6
9	全日本少年野球大会参加負担金	第74回全日本少年野球大会大分県実行委員会	第73回全日本少年野球大会開催要綱	児童自立支援施設入所児童の野球大会	15,000	R6.8.9
10	中部児童自立支援施設協議会負担金	中部児童自立支援施設協議会	中部児童自立支援施設協議会規約	児童自立支援事業の調査研究等	30,000	R6.7.22
11	日本認知・行動療法学会参加負担金	日本認知・行動療法学会	同 受講案内	学会への参加	15,000	R6.8.16
12	全日本少年野球大会児童宿泊負担金	(株)JTB群馬支店	全日本少年野球大会開催要綱	児童自立支援施設入所児童の野球大会	501,000	R6.8.27
13	中部十県一市児童自立支援施設長会議負担金	岐阜県立わかあゆ学園	同会議開催案内	会議参加負担金	160	R6.9.25
14	静岡県社会福祉協議会会費	社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会	社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会会費規程	在宅福祉活動の支援、ボランティア活動の振興、福祉教育の普及等	20,000	R6.10.9
15	安全運転管理者講習受講料	(一財)静岡県交通安全協会	道路交通法112条第5項	安全運転管理者講習	4,500	R6.11.13
16	人間ドック事業参加負担金	地方職員共済組合 静岡県支部	人間ドック県費負担実施要領	会計年度任用職員の間ドック費用	42,000	R6.11.14
計		16件			782,180	

建 築 工

整理 番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設 計 金 額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
1	こども未来 費	三方原学園門扉 修繕工事	浜松市中央区 有玉西町地内	円 935,000	円 891,000	円 0
2	こども未来 費	三方原学園本館 職員室空調設備 更新工事	浜松市中央区 有玉西町地内	円 1,749,000	円 1,749,000	円 0
		小 計	2件	円 2,684,000	円 2,640,000	円 0
		合 計	1件	2,684,000	2,640,000	0

事 調

(令和5年度)

額 計	契約 締結 方法	受 注 者	着手 完成(予定) 年月日	支 出 済 額	工 事 概 要	公有財 産台帳	摘 要
円 891,000	随契	株式会社 林工組	R5.10.31 R5.12.28	円 891,000	門扉修繕	済	R5.9.14令達 R6.1.22支払 随契一号(少 額)
円 1,749,000	随契	いけや空調・ 配管(株)	R5.12.27 R6.3.18	円 1,749,000	エアコン更新	-	R5.9.14令達 R6.4.5支払 随契一号(少 額)
円 2,640,000				円 2,640,000			
2,640,000				2,640,000			

建 築 工

整理 番号	予 算 科 目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設 計 金 額	契 約 金	
					当 初 額	変 更 増 減 額
1	こども未来 費					
2	こども未来 費	該当工事なし				
		合 計	0件	0	0	0

事 調

(令和6年度)
(令和7年1月31日現在)

額 計	契約 締結 方法	受 注 者	着手 完成(予定) 年月日	支 出 済 額	工 事 概 要	公有財 産台帳	摘 要
			該当工事なし				
0				0			

公有財産調

(令和6年度)
(令和7年1月31日現在)

区 分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年1月31日現在		摘 要
	数量又は面積 m ²	台帳価格 千円	数量又は面積	台帳価格 千円	数量又は面積	台帳価格 千円	数量又は面積 m ²	台帳価格 千円	
行政財産		3,482,973						3,482,973	
土地	96,970.38	2,797,179					96,970.38	2,797,179	
立竹木	614 本	26,367					614 本	26,367	
建物	5,227.01						5,227.01		
	5,825.00	621,836					5,825.00	621,836	
工作物	79 個	37,591					79 個	37,591	
普通財産		0						0	
土地	0.00	0			0	0	0.00	0	
立竹木	0.00	0			0	0	0.00	0	
建物	0.00				0	0	0.00		
	0.00	0			0	0	0.00	0	
工作物	0.00	0			0	0	0.00	0	
電話加入権	3 本	94					3 本	94	

借地・借家等調

(令和7年1月31日現在)

整 理 番 号	区 分	種 別	所 在 地	地 目		数 量 又 は 面 積	借 料		契 約 期 間	所 有 者 又 は 契 約 者 氏 名	用 途
				台 帳	現 況		単 価 円	年 額 円			
1	土地	緑地公園	浜松市中央区 有玉西町804	有玉 緑地		1ヶ所 7.22 m ²		無料	R3.4.1～ R8.3.31	浜松市長	排水路設置
			計			7.22 m ²					

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年1月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又 は面積	貸付料又は使用料		貸付又は 使用許可 期 間	貸付又は使用許可を 受けた者の氏名	貸付・ 使用許可 目的
				台帳	現況		単価 (円)	年 額 (円)			
1	土地	学園敷地	浜松市 中央区 有玉西 町816	山林 宅地	山林 宅地	本柱2本 本柱7本 支柱1本 支線2本	870 1,500	1,740 15,000	R3.4.1 R8.3.31	西日本電信電話 (株)静岡支店長	電柱敷
2	土地	学園敷地	浜松市 中央区 有玉西 町816	山林 宅地	山林 宅地	支線1本 本柱1本 支線柱1本 支線4本	180 1,500	180 9,000	R5.4.1～ R10.3.31	中部電力パワーグ リッド(株)浜松営業 所長	電柱敷
3	土地	学園敷地	浜松市 中央区 有玉西 町816	宅地	宅地	1 本		免除	R5.4.1～ R10.3.31	浜松市長	カーブ ミラー
4	土地	学園敷地	浜松市 中央区 有玉西 町816	宅地	宅地	1 本		免除	R3.4.1～ R8.3.31	浜松市長	カーブ ミラー
			計			21 本		25,920			

備品・図書調

1 / 2 頁

(令和 5年度)

所属 0000104223 健康福祉部 三万原学園

区 分	令和 5年 3月31日 現在	増		減		令和 6年 3月31日 現在
		数 量	購入 価 格 (円)	数 量	売却 価 格 (円)	
01-01 机類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-02 台類	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
01-03 いす類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-04 収納保管庫類	11	(0) 0	0	(0) 0	0	11
01-10 印判類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-13 厨房器具類	11	(0) 0	0	(0) 0	0	11
01-14 冷暖房器具類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-22 時計	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-99 その他の庁用器具類	10	(0) 0	0	(0) 0	0	10
02-01 情報処理機器類	34	(0) 0	0	(0) 9	0	25
02-02 情報伝達機器類	6	(0) 0	0	(0) 1	0	5
03-03 視覚用再生等機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
03-04 媒体関連機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
06-04 電気電子機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
06-09 木工用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
07-01 農産用機器類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
07-02 林産用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
08-01 車両類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
10-07 音楽用器具類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2

ZMB0040

ZMRB0040

備品・図書調

2 / 2 頁

(令和 5年度)

所属 0000104223 健康福祉部 三方原学園

区 分	令和 5年 3月31日 現在	増		減		令和 6年 3月31日 現在
		数 量	購入 価 格 (円)	数 量	売却 価 格 (円)	
10-12 体育保健用器具類	5	(0) 1	496,100	(0) 0	0	6
12-01 雑機器	15	(0) 0	0	(0) 0	0	15
50-01 図書	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
計	131	(0) 1	496,100	(0) 10	0	122

ZMB0040
ZMRB0040

備品・図書調

1 / 2 頁

(令和 6年度)

所属 0000104223 健康福祉部 三方原学園

区 分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 1月31日 現在
		数 量	購 入 価 格 (円)	数 量	売 却 価 格 (円)	
01-01 机類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-02 台類	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
01-03 いす類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-04 収納保管庫類	11	(0) 0	0	(0) 0	0	11
01-10 印判類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-13 厨房器具類	11	(0) 0	0	(0) 0	0	11
01-14 冷暖房器具類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-22 時計	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-99 その他の庁用器具類	10	(0) 0	0	(0) 0	0	10
02-01 情報処理機器類	25	(0) 1	153,340	(0) 0	0	26
02-02 情報伝達機器類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
03-03 視覚用再生等機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
03-04 媒体関連機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-99 その他の医療衛生機器類	0	(0) 1	115,500	(0) 0	0	1
06-04 電気電子機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
06-09 木工用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
07-01 農産用機器類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
07-02 林産用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
08-01 車両類	3	(1) 1	0	(2) 2	0	2

ZMB0040
ZMRB0040

備品・図書調

2 / 2 頁

(令和 6年度)

所属 0000104223 健康福祉部 三方原学園

区 分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 1月31日 現在
		数 量	購 入 価 格 (円)	数 量	売 却 価 格 (円)	
10-07 音楽用器具類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
10-12 体育保健用器具類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
12-01 雑機器	15	(0) 0	0	(0) 0	0	15
50-01 図書	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
計	122	(1) 3	268,840	(2) 2	0	123

ZMB0040
ZMRB0040

主 要 備 品 調

(令和7年1月31日現在)

整理 番号	区 分		品 名 ・ 規 格	利 用 状 況	購入年月	購 入 金 額
	大・中	小				
1	07-02	その他の林産 用機器	ウッドチップパー 共立KCM120	園内伐採木のチップ化 週2～3回	H20.5	819,000円
2	01-99	その他の庁用 器具	ガス式乾燥機 サンヨ-SCD-3220	各寮職員が交代で使 用 週2～3回	H2.7	772,500円
3	01-13	調理器具	コンベクション オープン	児童給食用食品の調 理 週2～3回	H24.12	662,025円
4	10-07	鍵盤楽器	電子ピアノ(グラ ビノーバ)	児童学習指導用 月1回	H6.1	589,160円
5	03-03	その他の視覚 用再生用機器	レーザーディスク セット	児童学習指導用 月2回	H8.3	548,990円
6	10-12	野球・ソフト用器 具	野球・ソフト用器具 1GJMA31200	野球部活動で使用 週2～3回	R5.4	496,100円
7	02-02	放送装置	ポータブル放送 設備	各種行事用 年6回	H24.3	443,100円
8	01-99	その他の庁用 器具	動力消防ポンプ 軽可搬式 5馬力	非常災害用 年2回	H4.6	412,000円
9	01-14	エアコンディショ ナー	エアコンディショナ ー SZRH80BAV	教室棟の冷暖房 毎日	H29.6	410,400円
10	10-12	サッカー用 器具	サッカーゴール カワイSG-17	寮活動等で使用 週1回	H4.12	406,077円
11	07-01	運搬用機器	農作業用運搬車 AM65DX	園内伐採木等の運搬 週2～3回	H26.3	390,600円
12	01-13	その他の厨房 器具	食器消毒保管庫 MCSK-10-e	児童給食用食器の消 毒・保管 毎日	H24.11	349,440円
13	01-14	エアコンディショ ナー	業務用エアコン PFZ-RP224B	給食棟の冷暖房 毎日	H24.7	341,250円
14	03-04	フィルム	映画フィルム 学園紹介	記録保存用	S56.3	340,000円
15	01-13	冷蔵(凍)庫	冷蔵(凍)庫 HRF-120X	児童給食用食品を冷 凍保存 毎日	H22.2	325,500円
16	01-13	冷蔵(凍)庫	冷蔵(凍)庫 HRF-120X	児童給食用食品を冷 凍保存 毎日	H22.2	325,500円
17	07-01	その他の農産 用機器	穴堀作溝用機器 TA800N-SCKU	園内畑等の耕運に使 用 月1～2回	R3.3	315,865円
18	07-01	その他の農産 用機器	耕運機 ホンダFUR950K	園内畑等の耕運に使 用 月1～2回	H19.1	308,000円
19	01-04	書類収納庫	イトーキ シンラインスライドタイプ	児童ケースファイルの 保管 毎日	S62.3	803,000円
20	01-99	その他の庁用 器具	箱庭セット メルコム	児童心理指導用 月2～3回	H18.3	303,000円
21	07-01	その他の農産 用機器	耕運機 TA700N-SCKU	園内畑等の耕運に使 用 月1～2回	R3.7	298,000円

生産物受払調

(令和7年1月31日現在)

品名(単位)		じゃがいも(kg)				玉ねぎ(kg)				ピーマン(kg)				キヌタリ(kg)			
		令和4年度 a	令和5年度 b	令和7年 1月31日 現在	差 b-a	令和4年度 a	令和5年度 b	令和7年 1月31日 現在	差 b-a	令和4年度 a	令和5年度 b	令和7年 1月31日 現在	差 b-a	令和4年度 a	令和5年度 b	令和7年 1月31日 現在	差 b-a
区分	重さ(kg)(ア)	134.1	69.7	40.0	△64.4	65.1	87.4	22.5	22.3	23.1	5.15	12.6	△18.0	1.0	5.9	15.0	4.9
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	134.1	69.7	40.0	△64.4	65.1	87.4	22.5	22.3	23.1	5.15	12.6	△18.0	1.0	5.9	15.0	4.9
高	計	134.1	69.7	40.0	△64.4	65.1	87.4	22.5	22.3	23.1	5.15	12.6	△18.0	1.0	5.9	15.0	4.9
単位数量(イ/ア)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
同前年比(%) (b-a)/a×100					△48.0				34.3				△77.7				490.0
私	売払数量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	売払金額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分類換 数量	134.1	69.7	40.0	△64.4	65.1	87.4	22.5	22.3	23.1	5.15	12.6	△18.0	1.0	5.9	15.0	4.9
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高	計	134.1	69.7	40.0	△64.4	65.1	87.4	22.5	22.3	23.1	5.15	12.6	△18.0	1.0	5.9	15.0	4.9
残高又は繰越数量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘要																	

- (注) 1 本表は本庁所管課及び出先機関において調製する。
 2 研究所等で分場又は出先機関のあるものは、本所分と区分して記載する。
 3 「品名」は、静岡県財産規則第11条第2項第3号に掲げる生産物受払簿に記載したものに記入する。
 4 「単位数量(イ/ア)」欄は、変動要因として把握している事項について別紙を作成する。
 5 「単位数量(イ/ア)」欄は、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下2位まで記載する。
 6 「同前年比(%)」欄は、小数点以下2位を四捨五入し、小数点以下1位までを記載する。
 7 売払金額と繰入予算執行状況調の調定額とが一致しない場合は、その理由を「摘要」欄に記載する。

生産物受払調

(令和7年1月31日現在)

品名(単位)	スイカ(kg)			ナス(kg)			カボチャ(kg)			さといも(kg)		
	令和4年度 a	令和5年度 b	令和7年 1月31日 現在	令和4年度 a	令和5年度 b	令和7年 1月31日 現在	令和4年度 a	令和5年度 b	令和7年 1月31日 現在	令和4年度 a	令和5年度 b	令和7年 1月31日 現在
重さ(kg)(ア)	0.00	0.00	6.5	34.0	5.7	22.6	8.5	1.6	0.0	26.5	50.8	29.4
			差 b-a			△28.3			△6.9			差 b-a
前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本年度生産高(イ)	0.00	0.00	6.5	34.0	5.7	22.6	8.5	1.6	0.0	-26.5	50.8	29.4
			計			△28.3			△6.9			24.3
単位数量(イ/ア)	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00
同前年比(%) (b-a)/a×100.			-			△83.2			△81.2			91.7
私 高	売 払 数 量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	売 払 金 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分類換	0.0	0.0	6.5	34.0	5.7	8.5	1.6	0.0	26.5	50.8	29.4
	管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0.0	0.0	6.5	34.0	5.7	8.5	1.6	0.0	26.5	50.8	29.4
	残高又は繰越数量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘 要												

- (注) 1 本表は本庁所管課及び出先機関において調製する。
2 研究所等で分湯又は出先機関のあるものは、本所分と区分して記載する。
3 「品名」は、静岡県財産規則第11条第2項第3号に掲げる生産物受払簿に記載したものと記入する。
4 「単位数量(イ/ア)」欄は、変動要因として把握している事項について別紙を作成する。
5 「単位数量(イ/ア)」欄は、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下2位まで記載する。
6 「同前年比(%)」欄は、小数点以下2位を四捨五入し、小数点以下1位までを記載する。
7 売払金額と繰入予算執行状況調の調定額とが一致しない場合は、その理由を「摘要」欄に記載する。

生産物受払調

(令和7年1月31日現在)

品名(単位)	さつま芋(kg)				大根(kg)				キャベツ(kg)				カリフラワー(kg)			
	令和4年度 a	令和5年度 b	令和7年 1月31日 現在	差 b-a	令和4年度 a	令和5年度 b	令和7年 1月31日 現在	差 b-a	令和4年度 a	令和5年度 b	令和7年 1月31日 現在	差 b-a	令和4年度 a	令和5年度 b	令和7年 1月31日 現在	差 b-a
重さ(kg)	127.2	188.0	135.0	60.8	75.7	5.0	0.0	△70.7	7.4	0.0	0.0	△7.4	22.7	0.0	0.0	△22.7
前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本年度生産高(イ)	127.2	188.0	135.0	60.8	75.7	5.0	0.0	△70.7	7.4	0.0	0.0	△7.4	22.7	0.0	0.0	△22.7
計	127.2	188.0	135.0	60.8	75.7	5.0	0.0	△70.7	7.4	0.0	0.0	△7.4	22.7	0.0	0.0	△22.7
単位数量(イ/ア)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00
同前年比(%) (b-a)/a×100				47.8				△93.4				△100.0				△100.0
私 高	売私数量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	売私金額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分類換 非売品 数量 管理換 その他	127.2	188.0	135.0	60.8	75.7	5.0	0.0	△70.7	7.4	0.0	△7.4	22.7	0.0	0.0	△22.7
	計	127.2	188.0	135.0	60.8	75.7	5.0	0.0	△70.7	7.4	0.0	△7.4	22.7	0.0	0.0	△22.7
残高又は繰越数量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘要																

- (注) 1 本表は本庁所管課及び出先機関において調製する。
 2 研究所等で分場又は出先機関のあるものは、本所分と区分して記載する。
 3 「品名」は、静岡県財産規則第11条第2項第3号に掲げる生産物受払簿に記載したものと記入する。
 4 「単位数量(イ/ア)」欄の変動要因として把握している事項について別紙を作成する。
 5 「単位数量(イ/ア)」欄は、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下2位まで記載する。
 6 「同前年比(%)」欄は、小数点以下2位を四捨五入し、小数点以下1位までを記載する。
 7 売払金額と歳入予算執行状況調の調定額とが一致しない場合は、その理由を「摘要」欄に記載する。

生産物受払調

(令和7年1月31日現在)

品名(単位)	プロセサリー(kg)				どうもろこし(kg)				ミニトマト(kg)							
	令和4年度 a	令和5年度 b	令和7年 1月31日 現在	差 b-a	令和4年度 a	令和5年度 b	令和7年 1月31日 現在	差 b-a	令和4年度 a	令和5年度 b	令和7年 1月31日 現在	差 b-a				
区分																
重さ(kg) (ア)	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0				
前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
本年度生産高(イ)	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0				
計	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0				
単位数量(イ/ア)	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00				
同前年比(%) (b-a)/a×100				0.0				-				-				
私	売私数量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	売私金額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	分類換	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0				
	管理換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	その他															
高	計	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0				
残高又は繰越数量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
摘要																

- (注) 1 本表は本庁所管課及び出先機関において調製する。
 2 研究所等で分場又は出先機関のあるものは、本所分と区分して記載する。
 3 「品名」は、静岡県財産規則第11条第2項第3号に掲げる生産物受払簿に記載したものに記入する。
 4 「単位数量(イ/ア)」欄の変動要因として把握している事項について別紙を作成する。
 5 「単位数量(イ/ア)」欄は、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下2位まで記載する。
 6 「同前年比(%)」欄は、小数点以下2位を四捨五入し、小数点以下1位までを記載する。
 7 売私金額と歳入予算執行状況調の調定額とが一致しない場合は、その理由を「摘要」欄に記載する。